

2025 年度 長岡大学シラバス

授業科目名	地域経営 (Regional Management)					担当教員	高橋 哲郎 (タカハシ テツロウ)	
2020-23 年度 入学者 (20K-23K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域指向科目／知識定着・確認 型 AL／協同学修型 AL
	2013-0-13-037	教養科目	選択	2 単位	1 年次	前期		
2024-25 年度 入学者 (24K-25K)	科目コード	科目区分	必修・ 選択区分	単位数	配当年次	開講期	科目 特性	地域指向科目／知識定着・確認 型 AL／協同学修型 AL
	2413-0-13-035	教養科目	選択	2 単位	1 年次	前期		

① 授業のねらい・概要
地域経営とは、地域社会の持続可能な発展を目指し、地域資源を活用しながら経済・社会・文化のバランスを考慮した経営を行うことを指す。本講義では、地域経営の基本概念を学ぶとともに、成功事例や課題を通じて実践的な知識を身につける。また、グループワークを通じて地域活性化策の企画・提案を行う。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
1 地域社会に貢献する姿勢 / 2 職業人として通用する能力
③ 授業の進め方・指示事項
講義は、パワーポイントを活用し講義を行う。参考資料はインターネット上の教材フォルダから閲覧する方法で進める。講義冒頭で前回講義の復習を行う。正当な理由のない遅刻・途中退席は認めない。日々の社会的な出来事も積極的に取り上げるほか、学生の意見を取り入れつつ、講義を進める。そのため、授業内容が変更となる場合がある。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
地域活性化論
⑤ テキスト(教科書)※授業で使用する。
テキスト指定なし。授業開始時にインターネット上の教材フォルダから閲覧する方法を指導する。
⑥ 参考図書・指定図書 ※授業では使用しないが、授業内容に関係し、理解を深めるために必要とする。
藻谷浩介『里山資本主義 ー日本経済は「安心の原理」で動くー』2013 年、KADOKAWA (角川新書) 藻谷浩介 (監修)『進化する里山資本主義』2020 年、ジャパントイムズ出版
⑦ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)
学生の理解度を確認しながら、運営していく。
⑧ 評価 A に対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 地域経営の基本的な概念や理論を的確に説明し、事例を交えた考察ができる。 (ii) 地域経営の課題を明確に捉え、適切な解決策を提示できる。 (iii) 授業に積極的に参加し、適切な質問や意見を述べ、議論に貢献している。

⑨ ルーブリック					
評価基準	S	A	B	C	D
評価項目	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 地域経営に関する理解度（レポート・小テスト）	地域経営の概念、理論、実践事例について深い理解を示し、独自の視点や批判的思考を加えて論じている。	基本的な概念や理論を的確に説明し、事例を交えた考察ができている。	理論や事例を適切に説明できるが、考察がやや浅い。	基本的な概念の理解はあるが、説明に不足が見られる。	理論や事例の理解が不十分で、正確な説明ができない。
(ii) 地域経営プランの策定・提案（グループワーク）	地域課題を的確に把握し、実現可能性の高い創造的な解決策を提案できる。論理的な構成で説得力のある内容。	課題を明確に捉え、適切な解決策を提示できる。具体的な提案も含まれており、実現可能性がある。	一般的な解決策を示すが、独自性や深い考察に欠ける。論理の一貫性が弱い。	課題の把握や提案内容が不十分で、具体性に欠ける。	課題の把握が不明確であり、解決策が現実的でない、または提案として成立していない。
(iii) 授業参加度・議論の貢献度	講義やディスカッションに積極的に参加し、鋭い質問や発言を行い、議論を活性化させている。	授業に積極的に参加し、適切な質問や意見を述べ、議論に貢献している。	必要最低限の発言はしているが、議論への積極的な貢献は少ない。	受動的な姿勢が多く、発言がほとんどない。	授業にほとんど参加せず、議論への貢献も見られない。

⑩ 学習到達目標（評価項目）	定期試験 (レポート含む)	小テスト	課題	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%		30%			100%
(i) 地域経営の基本的な概念や理論を的確に説明	20%	10%		5%			35%
(ii) 地域経営の課題を明確に捉え、適切な解決策を提示	20%	10%		5%			35%
(iii) 授業に積極的に参加し、適切な質問や意見を述べ、議論に貢献	10%			20%			30%
フィードバックの方法	初回講義内で、成績評価の方法・基準、講義の進め方、試験の方法等について、具体的に説明するので、出席すること。						

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分）（※特別な持参物）	
1	イントロダクション：地域経営とは何か	復習のキーワード：地域経営の定義、地域社会の課題、地域活性化の重要性	180 分
2	地域資源とその活用	地域資源（自然・文化・人的資本）、ブランディング	180 分
3	地域経済の仕組みと特徴	地域経済循環、地産地消、地域通貨	180 分
4	地方創生と政策	地方創生政策、地域振興策、政府・自治体の役割	180 分
5	地域経営と企業：中小企業・ベンチャーの役割	地域企業、スタートアップ、クラウドファンディング	180 分
6	観光産業と地域経営	インバウンド戦略、DMO（観光地域づくり法人）、地域ブランド	180 分
7	農業・漁業と地域経営	6次産業化、直販・EC、食品ロス対策	180 分
8	地域金融と地域経営	地域金融機関、信用金庫、地域投資ファンド	180 分
9	持続可能な地域づくりと SDGs	持続可能な開発、脱炭素社会、地域エネルギー	180 分
10	地域コミュニティと住民参加	コミュニティビジネス、NPO、自治会の役割	180 分
11	地域メディアと情報発信戦略	SNS 活用、シビックテック、デジタルマーケティング	180 分
12	成功事例分析①：国内の地域経営モデル	京都の観光戦略、北海道の農業モデル、瀬戸内のアート経営	180 分
13	成功事例分析②：海外の地域経営モデル	スイスの地域振興、デンマークのスマートシティ、シリコンバレーのエコシステム	180 分
14	グループワーク：地域経営プランの策定	地域課題の特定、戦略立案、プレゼンテーション準備	180 分
15	最終発表と講評	各グループの発表、フィードバック、総括	180 分

⑫ アクティブラーニングについて
「知識定着・確認型 AL」で定着した知識を「協同学修型 AL」によって深める。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性